

# 築地別院で大震災の追悼法要



## 9月6日、仙台で現地追悼法要 11月8日、本山で総追悼法要

宗派主催による「東京の盆踊り大会に先立ち行  
教区 東日本大震災現地  
追悼法要」が8月3日、  
ご門主ご親修のもと築地  
別院（不二川公勝輪番、  
東京都中央区）で営まれ  
た（写真）。法要は同別院  
興の願いを胸に、手を合

わせた。お裏方がご臨席  
され、同別院副住職の新  
門さまがご出座された。  
おつとめに先立ち、橋  
正信総長が挨拶。「阿弥  
陀如来のみ光に照らさ  
れ、お念仏申しつつ共に  
同じ道を歩む御同朋御同  
行として、被災されたす  
べての方々の悲しみに寄  
り添い、思いを分かち合  
うことを願いとして、残  
された者の責務を果たし  
てまいりたい。皆さんと  
共に亡くなられたすべて  
の方々を思い、追悼の誠  
を表して法要をつとめさ  
せていただきたい」と呼  
びかけた。

法要後もご本尊の前で  
じっと手を合わせていた  
近隣の女性は「震災を通  
してあらためていのちの  
無常を感じさせられ、毎  
日手を合わせることの重  
切さを一層かみしめた」  
としみじみ語っていた。

法要には同教区少年連  
盟主催の「夏の子ども会  
in築地本願寺」（次号に  
記事掲載予定）で招待さ  
れた福島県や宮城県の被  
災地の児童・生徒ら30人  
も参拝。宮城県白石市・  
専念寺門徒の岡部遥さん  
（中1）は「東京や関東の  
人も震災でたくさんショ  
ックを受けているのに、  
被災地のために集まって  
法要をしていくれてすご  
い。放射能や原発は酪農  
をしている実家にも影響  
があってとても心配だけ  
ど、同じ気持ちの人や友  
達もたくさんいるので、  
みんなで一緒にがんばり  
たい」と話していた。

今後、東北教区の現地  
追悼法要が9月6日午後  
1時から仙台市青葉区・  
仙台国際センターで、総  
追悼法要が11月8日午後  
3時30分から本山・阿弥  
陀堂で営まれる。